令和５年度　瀬谷和楽荘事業計画書

１　施設設置目的を踏まえた管理運営計画

老人福祉センターは、高齢者の皆さんが健康で明るい生活を楽しむための施設です。大広間で仲間とくつろいだり、健康の相談をしたり、「趣味の教室」を受講したりすることで、教養を高めるなど、生きがいづくりに利用していただくことを目的としています。

次に示す方針に基づき、地域に密着した運営に努めます。運営にあたっては、地区センターと老人福祉センターの複合館としての特徴を生かしつつ SDGｓを意識して取り組むとともに瀬谷区の基本目標「幸せが実感できる瀬谷づくり」向け、スタッフ全員が「チーム」となって、誰でもが利用しやすい施設となるように、「挨拶・声かけ」、「親身な対応」、「わかりやすい説明」を行い、利用者満足度の向上を図ります。

①　集う

②　つながる

③　市・区との協働：介護予防普及啓発事業の実施

２　地域特性、地域ニーズを踏まえた管理運営計画

瀬谷センターは、瀬谷区のほぼ中心に位置し、また交通の便の良さから、コロナ休館や利用制限期を除き例年利用者は 22 万人を超え、瀬谷区の主要行事の活動拠点となっています。また、高齢者の利用が 50％を超えるなど、センターの特徴を踏まえ、利用者、地域の方々のニーズに的確に応え、区の基本方針を反映し、「集う、つながる、瀬谷センター」をモットーに施設の運営を進めます。

３　施設の安全性、安定的な維持管理計画

館長、副館長、スタッフを配置し、和楽荘開館時間帯において責任者を含めて7名以上が勤務し、館の円滑運営に努めます。運営にあたっては「正確・丁寧・公平・迅速」に利用者の視点に立ったより質の高いサービスを提供します。

また、気持ちよく活動・交流できる施設を目指し、3 つの基本方針を踏まえるともに、「安全」「安心」「快適」な空間への取組を行うことで、築 40 年以上経過し、老朽化する建物、設備の適切な維持、管理に努めます。

個人情報保護等について４つの規程と４つのルールとヒヤリハット事例の共有、定期的な点検指導、さらに研修を実施し、法及び条例の趣旨の周知と日々の事務における徹底を図ります。

緊急時対応については、６つのマニュアルと地域その他との連携により、日頃から緊急時対応には万全を期するとともに、全スタッフや利用者にも参加していただく防災訓練を実施します。

４　利用者ニーズの把握、サービスの向上計画、利用促進計画

利用者ニーズの把握利用者サービス第一を念頭に、把握した利用者ニーズや地域ニーズを実現させるために、柔軟な発想で迅速な対応と運営に反映することに努めます。

①　地区センター委員会（老人福祉センター委員会）、利用者会議

② 利用者アンケート、自主事業後アンケート、区民意識調査
③ 地域住民、利用者との直接対話
④ 区と四半期ごとのモニタリング
⑤ 老人福祉センター所長会、協会連絡会
⑥ ホームページのお問い合わせフォーム、施設常設のご意見箱

サービスの向上計画「また来たい瀬谷センター」と思われるよう、職員・スタッフが一丸となって取り組んでいきます。

① 気持ち良く利用できるように､クリーンタイムの設定や各部屋の使用前後の点検、清掃を徹底します。
② インターネット予約システムの利用拡大と未利用者へのきめ細かなサービスを実施、誰でもが利用できる施設とします。
③ ウェブアクセシビリティＡＡに準拠したホームページによりウェブサイトを利用するすべての人が空き部屋の確認や必要な情報を得ることできるよう内容充実と周知を図っていきます
④ 施設情報は、ホームページ、和楽荘だより、施設内外の掲示板にタイムリーに発信します。
⑤ 地域の福祉団体と連携し、障害のある方が作った製品の販売による就労支援と飲食その他物販による利用者サービスの向上を図ります。

利用促進計画地域住民の自主的な活動をきっかけに、地域コミュニティの醸成、地域連帯意識の形成で、次の取組を通じて、利用促進を図ります。

① 団体の活性化：自主グループ立上げ支援、サークル紹介活性化
② リピーターを増やす：利用者視点で「正確・丁寧・公平・迅速」な対応
③ 共同企画・地域の交流を通して：協会他施設、地域の団体、他施設との連携
④ 新たな取組：未登録団体・個人への活動場所のお試し提供

５ 自主事業（趣味の教室）計画

・高齢者のニーズを把握し引き続き行う事業のほか新たに９事業を実施し、教養の向上及び趣味やレクリエーションの機会の提供を通じて､高齢者の社会活動を支援します。また、７つの介護予防普及啓発事業や健康相談等、健康づくりに寄与します。
・大広間を活用して気軽に参加できる様々な事業を展開し、新しいコミュニティや高齢者が健康で明るい生活を営むための「憩いの場｣､「居場所」を提供します。
・講師はできる限り地域の方に依頼するとともに、スタッフも事業の補助をします。
・区の施設、地域の団体とも連携して講座の企画を実施、新たな講師の登用につなげています。
・ロビーコンサートを開催し、施設に足を運んでいただくことで、新しい利用者の開拓を図ります。
・複合館としての利点を生かし、子どもから高齢者までの異世代交流を推進する事業を実施、地区センター老との共催を３事業計画します。複合館としての利点を生かし、子どもから高齢者までの異世代交流を推進する事業を実施します。
・講座の申込がホームページからインターネットでできるように準備を進めます。

６　感染症予防対策

市対応方針や各種ガイドラインを遵守することはもちろん、高齢者が利用する施設であることを考慮した対策を講じます。

自主事業（趣味の教室）やロビーコンサート等の開催は、事前申込制他、3 密回避を引き続き徹底して実施します。

御協力いただいていた部屋利用の 20 分前の退出は､アンケートや安全性を配慮の上、従前の 10 分前退出他、利用制限の緩和を適時実施していきます。

実施している感染防止対策等についてはホームページや掲出を行い利用者が安心して利用できるよう十分な周知・広報を行ってまいります。

令和５年度　老人福祉センター（瀬谷和楽荘）自主事業計画書

【対象】 横浜市在住60歳以上の方

	教 室 名	募集人数	開催期間	回数	予算 （円）
1	【介】簡単エクササイズ1	45	4月～9月	10	69,000
2	【介】シニア・ストレッチ1	45	4月～9月	10	69,000
3	古文書から見た家康が造った江戸時代	20	4月～6月	5	40,000
4	お楽しみ和楽～ボッチャ1～	14	4月～9月	6	34,000
5	お楽しみ和楽～朗読会～	14	4,12月	2	6,000
6	【介】お楽しみ和楽～童謡・唱歌～	14	4月～3月	4	24,000
7	お楽しみ和楽～映画～	14	4月～3月	4	10,000
8	【介】はじめてのふまねっと	20	5月～7月	5	42,000
9	お楽しみ和楽～落語・演芸～	14	6,1月	2	24,000
10	パソコン・スマホお悩み相談	9	4月～3月	12	15,000
11	健康相談	14	5月～3月	6	48,000
12	中学校の囲碁将棋部と対局しましょう！	10	6,11月	2	4,000
13	大広間でスマホ相談	9	4月～3月	12	1,000
14	文学講座　詩の鑑賞	20	8月	3	24,000
15	和踊り教室	20	10月～11月	6	36,000
16	【介】シニア・ストレッチ2	45	10月～3月	10	69,000
17	【介】簡単エクササイズ2	45	10月～2月	10	69,000
18	【介】お楽しみ和楽～椅子に座って太極拳～	14	10月～3月	6	36,000
19	お楽しみ和楽～ボッチャ2～	14	10月～3月	6	1,000
20	メディカル・アロマ	10	10月	1	6,000
21	はじめてのちぎり絵	10	10月～11月	5	30,000
22	簡単・美味しいお料理とお菓子	12	1月～3月	3	18,000
23	はじめてのダーツ	20	3月	2	14,000
24	〈地区センター・和楽荘〉 笠原先生と行く北鎌倉散歩	15	5月	1	6,000
25	〈地区センター・ワンパク・和楽荘〉 瀬谷の街歩き	15	5月	1	6,000
26	〈地区センター・ワンパク・和楽荘〉 さわやかスポーツ体験！カローリング	20	8月	1	9,000
合 計				135	710,000

【介】介護予防普及啓発事業　378,000

令和５年度　瀬谷地区センター自主事業（共通）計画（ニーズ対応費で対応）

	教 室 名	募集人数	開催期間	回数	予算 （円）
1	サマーコンサート	50	5月	1	30,000
2	瀬谷センターまつり	自由参加	11月	1	500,000
3	クリスマスコンサート&クリスマスおはなし会	100	12月	1	120,000
4	スプリングコンサート	50	3月	1	30,000
合 計				4	680,000

（様式3）　　（指定管理者が記入する様式）

令和５年度　「老人福祉センター横浜市瀬谷和楽荘」　収支予算書兼決算書

（令和５.４.１～令和６.３.31）

収入の部　　（税込、単位：円）

科目	当初予算額（A）	補正額（B）	予算現額（C=A+B）	決算額（D）	差引（C-D）	説明
指定管理料	17,471,000		17,471,000		17,471,000	横浜市より
利用料金収入	0		0		0	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）収入	71,000		71,000		71,000	
自主事業収入	0		0		0	
雑入	286,000	0	286,000	0	286,000	
印刷代	50,000		50,000		50,000	
自動販売機手数料	186,000		186,000		186,000	
駐車場利用料収入	0		0		0	
その他（カラオケ使用料・預金利息等）	50,000		50,000		50,000	
収入合計	17,828,000	0	17,828,000	0	17,828,000	

支出の部

科目	当初予算額（A）	補正額（B）	予算現額（C=A+B）	決算額（D）	差引（C-D）	説明
人件費	9,051,000	0	9,051,000	0	9,051,000	
給与・賃金	8,354,000		8,354,000		8,354,000	館長・副館長・嘱託職員及び時給職員
社会保険料	586,000		586,000		586,000	
通勤手当	34,000		34,000		34,000	常勤職員・嘱託職員
健康診断費及びｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞ予防接種補	23,000		23,000		23,000	常勤職員・時給職員
勤労者福祉共済掛金	6,000		6,000		6,000	
中小企業退職金共済掛金	48,000		48,000		48,000	
事務費	783,000	0	783,000	0	783,000	
旅費	9,000		9,000		9,000	出張旅費
消耗品費	285,000		285,000		285,000	事務消耗品費
会議賄い費及び諸費	7,000		7,000		7,000	
印刷製本費	0		0		0	
通信費	50,000		50,000		50,000	電話代・郵送料等
使用料及び賃借料	100,000	0	100,000	0	100,000	
横浜市への支払分	21,000		21,000		21,000	目的外使用料等　（ｾﾝﾀｰ81,840　老福21,120）
その他	79,000		79,000		79,000	
備品購入費	65,000		65,000		65,000	
図書購入費	160,000		160,000		160,000	
施設賠償責任保険	12,000		12,000		12,000	
職員等研修費	3,000		3,000		3,000	
振込手数料	4,000		4,000		4,000	
リース料	88,000		88,000		88,000	
手数料	0		0		0	
地域協力費	0		0		0	地域イベントの協力費等
事業費	781,000	0	781,000	0	781,000	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）費	781,000		781,000		781,000	
自主事業費	0		0		0	イベントの実施
管理費	3,868,000	0	3,868,000	0	3,868,000	
光熱水費	1,802,000	0	1,802,000	0	1,802,000	
電気料金	1,160,000		1,160,000		1,160,000	
ガス料金	480,000		480,000		480,000	
水道料金	162,000		162,000		162,000	
清掃費	788,000		788,000		788,000	日常・定期清掃費
修繕費	360,000		360,000		360,000	
機械警備費	65,000		65,000		65,000	
設備保全費	853,000	0	853,000	0	853,000	
空調衛生設備保守	388,000		388,000		388,000	
消防設備保守	43,000		43,000		43,000	
電気設備保守	150,000		150,000		150,000	
害虫駆除清掃保守	0		0		0	
駐車場設備保全費	0		0		0	
その他保全費	272,000		272,000		272,000	植栽管理・給水設備・ルート回収・ピアノ調律等
共益費	0		0		0	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税	0		0		0	
消費税	0		0		0	
印紙税	0		0		0	
その他（法人税）	0		0		0	
事務経費　（計算根拠を説明欄に記載）	3,345,000	0	3,345,000	0	3,345,000	
本部分	3,345,000		3,345,000		3,345,000	労務・経理等の本部事務経費
当該施設分	0		0		0	
ニーズ対応費	0		0	0	0	
支出合計	17,828,000	0	17,828,000	0	17,828,000	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費収入				0		
自主事業費支出				0		
自主事業収支				0		

管理許可・目的外使用許可収入				0		
管理許可・目的外使用許可支出				0		
管理許可・目的外使用許可収支				0		